

泉区地域協議会

第5期（平成29・30年度）

2年間の取組の振り返り

1 課題検討 1

- (1) 高齢者が安心して暮らすため、2025年に向けて行政及び地域で取り組んでいくこと（29年度）
- (2) 泉区内外の多くの人に「住むなら泉区」と感じてもらうための“魅力発信”“魅力創出”について（30年度）

2 事業評価 2

(1) 平成29年度

- ・ 地域活動の支援（地域力支援事業）
- ・ 安全・安心なまちづくり（「食と暮らし」の安全・動物愛護推進事業）
- ・ 信頼される身近な区役所づくり（広報事業 広報よこはま泉区版の発行）

(2) 平成30年度

- ・ 安全・安心なまちづくり（防災対策事業）
- ・ 地域活動の支援（区民活動支援センター事業）

3 情報交換会 3

平成31年 2月14日

1 課題検討

(1) 平成29年度

ア テーマ 高齢者が安心して暮らすため、2025年に向けて行政及び地域で取り組んでいくこと

イ 意見書の概要

- 1 地域が取り組んでいくこと
 - (1) 健康づくり・介護予防の取組
催しへの参加のきっかけづくり、周知方法等の工夫／世代を越えた交流や集いの場の充実／各地区で実施されている活動の共有と多地域での展開
 - (2) 地域で可能な「日常の生活支援」の取組
高齢者への関わり方の工夫／各地区の活動の地域間での共有と多地域での展開／高齢者の特性や個人情報等の理解の促進／地域活動の内容についての工夫
 - (3) 幅広い世代の地域活動への参加促進
多世代が参加できるような内容の工夫と機会の創出等／子育て期の世代の参加の促進／特定の分野や趣味に特化した企画
- 2 行政の取組として求めること
 - (1) 健康づくり、介護予防に関する施策
広報の充実／有効性を高める取組の工夫等／地域人材の育成／専門的なアドバイスのできる人材の派遣
 - (2) 日常の生活支援に関する施策
先行して取り組んでいる活動者との交流／外出が困難な高齢者等に対する移動手段の拡充／補助金等の地域活動を支援する仕組みづくりと周知
 - (3) 幅広い世代の地域活動への参加促進
若い世代に対する啓発や意識づけ、幅広い世代が地域活動に参加できる環境づくり／企業やNPO等と地域とのコーディネート／地域支援に精通した職員の育成

(2) 平成30年度

ア テーマ 泉区内外の多くの人に「住むなら泉区」と感じてもらうための“魅力発信”“魅力創出”について

イ 意見書の概要

- 1 「魅力創出」～泉区の強み、魅力について～
 - (1) 泉区ならではの魅力発信
 - ア 多様な交通アクセス
 - イ 豊かな水と緑、澄んだ空気と広い空に象徴されるまち
 - ウ 「便利」と「変わらない自然」が共存するヨコハマ、適度に田舎で適度に都会
歴史と伝統に満ちたまち／「農」が充実したまち／充実した子育て環境
 - (2) 多世代で「顔の見える関係づくり」に取り組んでいます
- 2 「魅力発信」のために地域と行政が取り組むこと
 - (1) 若年層に地域へ関心を持ってもらうための取組
 - (2) 若年層をターゲットにした魅力発信の取組
 - (3) 区民や在勤者が区の魅力を発信するための取組
 - (4) 効果的な魅力発信に向けた取組
 - (5) 魅力発信に向けた地域資源とのさらなる連携

2 事業評価

(1) 平成29年度

○地域活動の支援（地域力支援事業）

【総合評価】

地域活動を継続させるために、引き続き重点的に担い手支援に取り組む必要がある。担い手支援に取り組む姿勢等は評価したい。また、幅広い年齢層を取り込もうとする取組は概ね評価できる。

【提言・提案】

- 1 地域活動の初任者等に対する支援(役員、委嘱委員の負担の軽減/情報の発信 等)
- 2 地域活動の担い手育成(体験・参加型講座等の開催/活動者との交流の機会の創出 等)
- 3 地域の課題解決に向けた取組に対する支援(区職員等のコーディネート力の強化 等)
- 4 新たな担い手の発掘・確保(自治会町内会、市民活動団体等と区民とのマッチング 等)

○安全・安心なまちづくり（「食と暮らし」の安全・動物愛護推進事業）

【総合評価】

区民が安心安全な日常生活を営むため必要不可欠なものである。衛生教育等や飼い主のマナー指導、不妊去勢手術等の啓発等、本事業は適正に業務を執行しているものと評価する。

【提言・提案】

- 1 公共施設等への衛生管理対策(小学生への衛生の重要性の周知/出前講座等の開催 等)
- 2 ペットの取り扱い方について(飼い主のいない猫の対策/避難所でのペット対策 等)
- 3 ハチ等による事故、蚊による感染症等防止に向けた幅広い情報の周知
- 4 事業全般のPRの必要性(周知方法の工夫/魅力的なパンフレットの作成 等)

○信頼される身近な区役所づくり（広報事業 広報よこはま泉区版の発行）

【総合評価】

本事業は、泉区独自の取組によって様々な工夫が凝らされ、随時改善されており、区民に親しまれる広報紙となっていることから、概ね良好と評価できる。

【提言・提案】

- 1 紙面構成(読みやすい紙面づくりの継続/弾力的な紙面づくり 等)
- 2 読者層の拡大(伝えたい人に読んでもらえる紙面づくり 等)
- 3 住民意見の反映(定期的にアンケート調査を実施する 等)
- 4 全体について(読者目線のチェック、各課の横断的な業務連携の展開/現場に寄り添った記事の作成 等)

(2) 平成30年度

○安全・安心なまちづくり（防災対策事業）

【総合評価】

町の防災活動に関する内容に重点を置き、区の事業が地域の取組とマッチしているかという視点で、概ね適正に実施されていると評価できる。

【提言・提案】

- 1 地域の防災組織への支援強化(今後は、地域での具体的活動に対する支援をさらに強化 等)
- 2 防災対策全体の「見える化」(様々な主体の連携と情報共有を強化、各主体がすべきことの明確化 等)
- 3 地域の特性に応じた活動支援(防災対策の体系化と「見える化」、地域の中で考えることの意識付け 等)

○地域活動の支援（区民活動支援センター事業）

【総合評価】

様々な団体や区民が活動を推進するために必要な事業と考えられ、概ね適正に実施されていると評価する。

【提言・提案】

- 1 泉区の魅力創出、魅力発信(「魅力創出、魅力発信」に向けた事業展開を検討 等)
- 2 幅広い世代へのPR(主に若年層に向けた取組の実施 等)
- 3 区民への浸透度不足の払拭(自治会等の役員がセンターの役割を理解するための取組の検討 等)
- 4 中間支援組織としての役割(区民利用施設とのネットワークの構築、情報交換 等)
- 5 効果的な講座・セミナーの開催(自治会町内会支援と趣味、教養を高めるための支援とのバランスを考える 等)

3 情報交換会

(1) 平成29年度

○実施日 平成30年2月22日(木)

○テーマ・発表者

(1) 高齢者の支援チーム「しらゆり助っ人隊」の取組

衛藤 隆知 委員 (しらゆり地区)

しらゆり地区の自治会・町内会に加入している70歳以上の高齢者世帯を対象に、樹木の枝切や雑草取り、窓拭き、掃除など支援活動を行っています。



(2) 地域における認知症についての取組

小泉 正彦 委員 (中川地区)

中川地区で設立した「認知症サポート連絡会」で、認知症への理解と地域の見守りや対応のポイント、認知症の予防法などを学んでいます。



(2) 平成30年度

○実施日 平成31年1月17日(木)

○テーマ・発表者

(1) 「アッテ祭り」の開催および「こども食堂」の取組について
～地区社協との連携～

相原 重幸 委員 (新橋地区)

「知りアッテ」「助けアッテ」など5つの「アッテ」から名付けたアッテ祭りや、子どもから高齢者まで集うことのできる憩いの場として「コミュニティしんばし食堂」を開催しています。



(2) 「高齢者向けサロン」の運営、「案山子コンテスト」および「ハマロード・サポーター活動」の取組等について

八木 勇喜 委員 (富士見が丘地区)

高齢者の憩いの場として毎週サロンを開催したり、秋の風物詩「案山子コンテスト」、環状4号線の歩道を清掃する「ハマロード・サポーター活動」などを実施しています。

